

主催：研究・イノベーション学会関西支部 共催：日本設計工学会関西支部

第3回（通算158回）研究会のご案内

今やハイテクノロジーの世界は急劇な発展を示し、5Gやワクチンなど、われわれの身近に迫っています。今回の研究会は、年間テーマ「イノベーションと地域創生」の下、「身近な先端技術」の講演会を企画しました。皆様方多数のご参加をお待ちしています。

開催日：2021年2月26日（金）14:00～17:10

会場：大阪電気通信大学駅前キャンパス（京阪寝屋川市駅徒歩3分）

1階/101教室

概要：

「第1講」本講演では、「5G」というキーワードの意味、技術、既得権益について情報通信産業以外の方々に理解していただくことを目的とします。また、「5G」とよく似た文脈で使われる「IoT」「Society 5.0」「trillion Sensors」など次から次へと情報通信分野で登場する流行語が出てくる理由や、これらの流行語とどのように付き合うべきかについて紹介します。これらのキーワードを紐解く中で、関係するアプリケーションである動画配信、eスポーツ、自動運転（MaaS）、遠隔医療、VR/AR、販売流通が今後どうなっていくかが見えてきます。例えば既得権益者であったテレビ産業が現在崩壊しつつあるのは今や誰でも認識していることだと思いますが、YouTubeが登場したのは2005年と15年以上前になります。同様のことが他の分野でも起こりうるのだということを「5G」というキーワード通して感じていただこうと考えています。

「第2講」世界は、いま、新型コロナウイルスパンデミックの脅威にさらされています。世界の感染者は、近々1億人を超え、死者は200万人に達するでしょう。日本の感染者が30万人、死者が5000人になるのは間近です。

新型コロナウイルスとは何者か、我々の免疫力で防げないのか、ワクチンや抗ウイルス剤は効くのか。流行を食い止めるにはどうしたらいいか。

今回、現代社会がウイルス感染に対していかに脆弱であるかを思い知らされました。しかし、パンデミックは自然災害ではなく社会災害です。その原因の分析なしに、パンデミックを防ぐ新しい社会を構想することはできないでしょう。

皆様と一緒に考えてみたいと思います。

講演会プログラム：

14:00-14:10 開会挨拶

14:10-15:10 「IoT、5G、Society 5.0、etc.：情報通信分野におけるバズワード」

猿渡 俊介氏：大阪大学大学院情報科学研究科

情報通信ネットワーク学専攻 准教授

15:10-15:20 休憩（換気、質問事項メモ1）（館外ではマスクを外して深呼吸可です）

15:20-16:20 「新型コロナウイルス感染症対策、どう捉え、どう防ぐ」

宗川 吉汪氏：京都工芸繊維大学名誉教授

16:20-16:25 休憩（換気、質問事項メモ2）

16:25-17:05 「総合討論」

17:05-17:10 次回案内 閉会挨拶

参加費：無料、交流会はありません。

申込締め切り：2月24日（水）

新型コロナウイルスの状況により中止の可能性があることから、開催の有無については研究・イノベーション学会関西支部 HP をご確認ください。

申込方法：〔1〕下記リンクをクリックし、関西支部ホームページよりお申し込み下さい。

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdPXIHfyJtt7GX6Wjimv9hqkyFLkuFud-ySgbapfW3H5d8PGQ/viewform?usp=sf_link

または、

〔2〕副支部長兼支部事務局の長 西原一嘉の個人メール：
nisihara@osakac.ac.jp

にお申し込み下さい。

コロナウイルス感染対策は厳重に実施します。

当日受付ではお名前、体温だけお伺いします（家を出られる前に体温測定を御願います）。直接、「配布資料・質問票、参加票」を置いている席にお着きください。

質問票は各講演終了後に受付の回収ボックスに入れて下さい（質問事項記入用の筆記具の用意をお願いします）。総合討論は質問事項のメモを主に行う予定です。

参加される皆様には**館内でのマスク着用**を御願います（館外ではマスクを外し深呼吸も可能です）。体温37.5°以上の方、体調の悪い方、免疫力の低下している方は参加をご遠慮下さい。名刺交換はお控え下さい。

大阪電気通信大学駅前キャンパスマップ

(ご注意下さい) 大阪電気通信大学駅前キャンパスには駐車場なし、付近に有料駐車場有。キャンパス周り及び前の道路は駐車禁止になっています。

